

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ http://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務部：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

第63期報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日

NKKスイッチズ株式会社

スイッチ分野で世界のトップを目指す——

事業拡大よりもお客様に信頼され、感動していただける差別化された
特長ある企業を目指しています。

**販売強化項目は順調でしたが、
厳しい市況から
全体の業績は低調に推移しました。
今後も挑戦を継続し、
成長を目指します。**

代表取締役社長

大橋智成



**この1年の産業用スイッチ市場の状況と、
当期の業績概況をお聞かせください。**

2016年3月期における日本経済は、円安効果が一巡して弱含みとなり、個人消費の回復は依然として鈍く、先行き不透明な状況が続きました。産業用スイッチ(操作用スイッチ)市場におきましては中国市場の成長減速に伴い、昨夏以降は北米市場が低迷し、日本市場においては為替が円安から円高へ転換したことで輸出環境が変わりました。一般社団法人日本電気制御機器工業会(NECA)によれば、当社の投票している2015年度の操作用スイッチ出荷額は前年同期比6.5%減でした。

こうした中、当社グループは世界No.1の産業用スイッチメーカーになるというビジョンを達成するため、3カ年の中期経営計画「Accomplish100」を推進いたしました。売上面では、グループの販売強化項目である「ネット販売」「タッチパネル」「IS(多機能操作スイッチ)」「特定市場」の拡販に努めました。また生産面では、タッチパネル専用のいわき工場(福島県いわき市)の生産効率向上と品質強化を図るとともに、グループの第三の生産拠点となるフィリピン・マクタン工場の稼働に向けて着実に準備を進めました。さらに開

発面では、高付加価値商品をタイムリーに市場へ投入するための研究開発環境を整備するなど、グローバル市場における競争力を確固たるものとするため、積極的な投資を行いました。

次に地域別概況ですが、日本市場におきましてはグループの4つの販売強化項目を中心に積極的に取り組みましたが、不透明さを増す世界経済の影響からそれ以外の製品の落ち込み分が大きく、売上高は同7.8%減となりました。北米市場におきましては、販売強化項目でもあるカタログディストリビューターは前期実績と変わらない売上高を維持しましたものの、中国経済の変調から業績に大きく貢献していたグローバルディストリビューターが急激に在庫調整を行ったことから、同9.3%減となりました。ただし、今年に入ってから在庫状況が徐々に改善されつつあり、今後期待しております。中国市場におきましては、中国経済の成長鈍化が一層顕著になってきております。こうした中で華南地方での販売店網を再構築し、特定市場の開拓を中心に積極的な営業活動を行いました。同4.2%減となりました。

これらの結果、当社グループの2016年3月期における売上高は76億2千1百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益は2億8千9百万円(同58.5%減)、経常利益は2億3千7百万円(同72.0%減)となりました。

2年目を終えた中期経営計画「Accomplish100」の進行状況について、どう評価されていますか。

当社グループには約300万種類のスイッチがあり、さまざまな産業分野で使われておりますが、浅く広く売る手法だけでは景気の変動に経営が左右されてしまいます。このため以前より販売強化項目を定め、ここにヒト・モノ・カネを集中することで経営効率を高め、市場環境に影響されにくい企業体質づくりに取り組んでおります。その結果、2016年3月期は厳しい市況の中ではありましたが、4つの販売強化項目「ネット販売」「タッチパネル」「IS(多機能操作スイッチ)」「特定市場」はトータルで106%の成長をすることができました。しかし、それ以外の製品のマイナス分をカバーするまでの売上を達成できなかったことは反省するところです。全体としてプラス成長になるよう、さらに販売強化項目の強化に努めます。一方、3Dプリンターや解析ソフトの導入、タッチパネル専用のいわき工場の増築、マクタン工場の設立など、開発・生産の環境整備といったNKKブランドの存在価値を高

めるためのインフラづくりは計画通りに進んでおります。現在、市場環境の風はアゲンストですが、やるべきことはやっており、フォローに変われば業績は一気に伸びるものと確信しております。

稼働準備を進めたマクタン工場の最新状況はいかがでしょう。

当社の第三の生産拠点となるマクタン工場につきまして、昨年社員募集を行い、多数の応募者の中から適性を備えた人材を予定数確保しました。マネージャークラスの社員につきましては日本と中国で研修を受けさせるとともに、現地でも日本人社員のもとで教育し、品質を重視するNKKグループのモノづくりをじっくり学ばせました。これらを経て今年5月16日にはラインを稼働させることができました。フィリピンは英語も公用語ですので、現地でのコミュニケーションは基本的に英語で行い、何ら問題はございません。必要に応じて指示をすばやく適切に伝えることができます。中国工場では

は製品ごとの作業標準書も中国語に翻訳するのにかなりの手間暇がかかりますが、これに比べて英語圏であるフィリピンに拠点を設けたことに大きなメリットを感じています。今後は生産自動化を含めた高付加価値な高難度品については日本で、難易度の高い手作業生産品は中国で、難易度のそれほど高くない製品についてはフィリピンで生産を担当させます。生産高は3年後をめどに、日本、中国、フィリピンを1/3程度ずつに目指し、自然災害やカントリーリスク等、不測の事態発生時における生産活動への影響を最小限に抑える体制を築きたいと考えております。

ホームページをリニューアルされましたが、コンセプトをお聞かせください。

今回のリニューアルは、ブランディングの観点から日本だけでなくNKKグループ全体で実施いたしました。当社グループは創立55周年でロゴマークを、60周年で名称をNKKスイッチズに統一いたしました。ホームページに関してはこれまで各社の裁量に任されておりました。しかしネット社会が加速的に発展していく中で、ホームページの上でも、日本だけでなく世界で「NKK=スイッチ」「スイッチ=NKK」、また品質や技術力の高さをイメージさせる、NKKグループとしての統一したコンセプトを浸透させる必要があると考えました。そこでトップページのデザインは、品質や技術力の高さをイメージさせるようなものに改めるとともに、アメリカ、中国、フィリピンも共通にしました。ただし、ローカルごとでビジネスの風土習慣が違いますので、コンテンツについてはある程度裁量に任せ、より現地で親しまれるように指示しました。また、現在日本語のホームページにはeコマース機能を設けていますが、今年7月以降に中国語サイトでもeコマースを開始する予定です。当社は今後ともネット社会の進歩に遅れることなく、積極的にインターネットを活用していきたいと考えております。

2017年3月期の事業環境については、どのように見ていらっしゃいますか。

事業環境的には大幅な環境変化は期待できるものではないと考えています。事業環境は景気循環と同じく、変わっていくものです。その中で環境変化をいかに早くとらえ、自分たちの事業に寄与させていくかが大切だと思います。

タッチパネルは操作スイッチと並ぶ当社グループの二本柱に育てるため、いわき工場を専用化するとともに、クリーンルームを増築、印刷機等の設備も増強し、生産能力や生産効率、品質も向上してきています。市況が好転すればさらに投資して、売上を伸ばしていきたいと考えております。

社員には「ノーチャレンジ、ノーチャンス」「ノーチェンジ、ノーチャンス」と言っているのですが、チャンスは挑戦して変化して初めて向こうからやってくるものです。過去の延長線上に、自分たちの将来はありません。自ら気づき、自ら考え、自ら行動することによって競合他社との差別化が図られ、成長が生まれると考えております。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

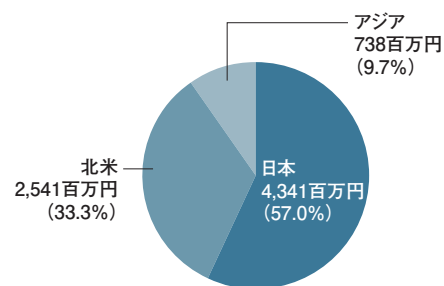
現在、世界的な景気低迷の影響を受け、厳しい環境が続いております。しかし、企業にとって売上を伸ばすことは重要であるものの、それがすべてではありません。次の成長のためにやるべきことを前向きに継続することで、我々の市場での存在価値は高まり、今後さらに進展するグローバル化、ボーダーレス化に対応していくことになると考えております。

NKKグループとしましては、世界で最も知られ、最も好まれ、そして一番選ばれるスイッチメーカーになりたいと思っております。そうなるためにも前向きな取り組みを継続し、真のグローバル企業として成長していきたいと思っております。

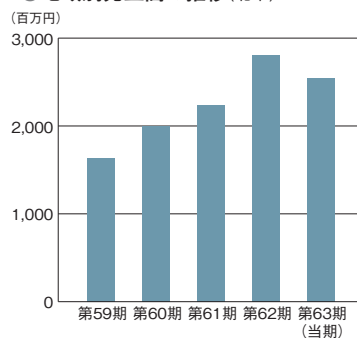
今後も株主の皆様におかれましては、なにとぞこれまでと変わらぬご支援とご協力を賜りたいと存じます。

地域別売上高の推移

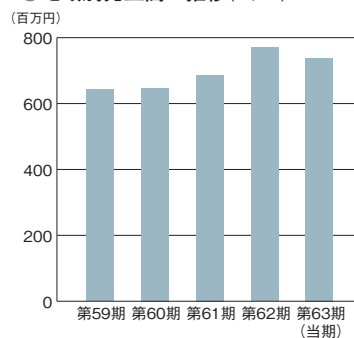
●地域別売上高構成



●地域別売上高の推移(北米)



●地域別売上高の推移(アジア)



マクタン新工場完成

NKKスイッチズでは、お客様にスイッチを安定的に供給するため、日本、中国に続く第三の生産拠点として、フィリピン共和国のマクタン島に、新たな工場を建設し、3月14日に工場の開所式が行われました。

5月からは一般品スイッチの生産も開始し、手作業を中心とした製品組立を行っております。

当社グループの生産体制は、稼動したマクタン工場に加え、日本での生産自動化を含めた高付加価値品、中国での難度の高い手作業生産品と、各地域特性を生かした体制を構築し、生産高は3年後をめどに日本、中国、フィリピンでそれぞれ1/3程度を予定しております。



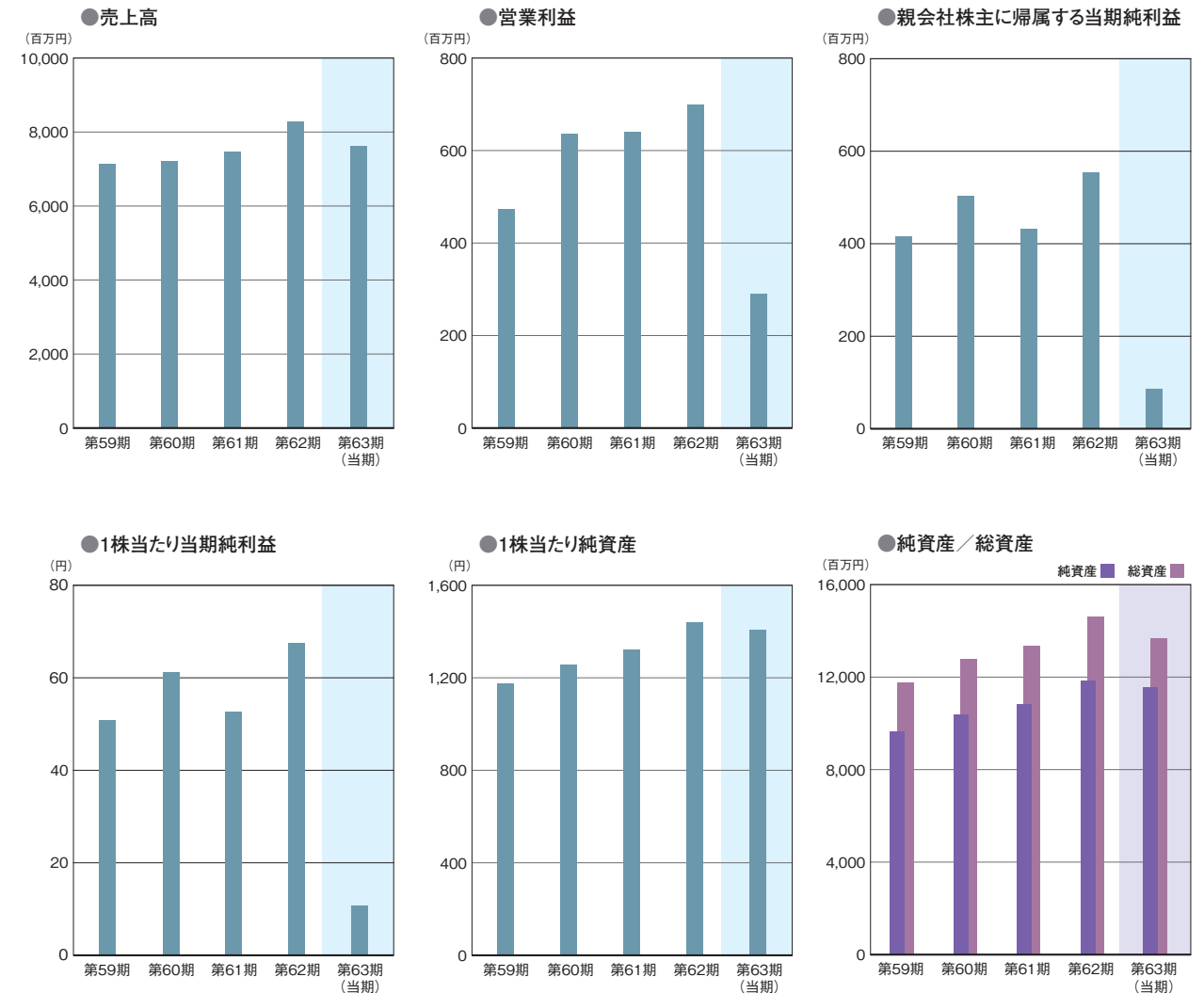
新製品 Mシリーズ防水スイッチ発売

2月22日発売開始の新製品【Mシリーズ】は、2重の防水構造を採用し、防水信頼性を向上させた防水ラージブッシング形トグルスイッチです。

IP67適合の防水性能を備えながらスタイリッシュなデザインに仕上げされており、取り付けが容易で、建機をはじめ、工作機械、輸送機器、食品機械、厨房機器、医療機器など厳しい作業環境下でのご利用に適しております。



世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーになるために、NKKはこれからも、NKKブランドの構築に邁進してまいります。



■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成28年3月31日)	前期 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,895,134	10,940,420
現金及び預金	5,222,265	6,199,847
受取手形及び売掛金	1,286,539	1,526,160
商品及び製品	1,332,990	1,169,272
仕掛品	105,359	141,679
原材料及び貯蔵品	1,312,348	1,409,845
繰延税金資産	172,920	282,868
前払費用	42,641	42,835
その他	422,977	170,850
貸倒引当金	△ 2,908	△ 2,941
固定資産	3,788,384	3,671,720
有形固定資産	1,962,206	1,561,864
建物及び構築物	880,466	876,066
機械装置及び運搬具	105,184	123,840
工具、器具及び備品	203,090	176,085
土地	382,511	385,872
建設仮勘定	390,954	—
無形固定資産	365,100	492,039
投資その他の資産	1,461,076	1,617,816
投資有価証券	980,170	1,228,982
長期預金	300,000	200,000
その他	180,906	188,833
資産合計	13,683,519	14,612,140

(単位:千円)

科目	当期 (平成28年3月31日)	前期 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債	1,637,866	2,191,784
買掛金	1,004,615	1,222,151
未払法人税等	376	194,282
賞与引当金	99,632	95,319
役員賞与引当金	20,400	24,000
未払金	225,608	333,344
未払消費税等	2,234	2,595
未払費用	207,116	241,319
その他	77,882	78,771
固定負債	480,640	562,629
繰延税金負債	131,367	196,272
退職給付に係る負債	100,526	99,959
役員退職慰労引当金	133,000	149,600
その他	115,745	116,797
負債合計	2,118,507	2,754,413
純資産の部		
株主資本	11,228,475	11,232,020
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,603,814	9,606,972
自己株式	△ 160,443	△ 160,056
その他の包括利益累計額	336,536	625,705
その他有価証券評価差額金	320,961	455,320
為替換算調整勘定	15,575	170,385
純資産合計	11,565,012	11,857,726
負債純資産合計	13,683,519	14,612,140

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	7,621,150	8,283,188
売上原価	4,604,518	4,874,318
売上総利益	3,016,632	3,408,869
販売費及び一般管理費	2,726,640	2,710,869
営業利益	289,991	698,000
営業外収益	57,899	176,364
営業外費用	110,696	27,124
経常利益	237,194	847,240
特別利益	102,446	—
特別損失	2,137	1,339
税金等調整前当期純利益	337,503	845,900
法人税、住民税及び事業税	128,885	464,198
法人税等調整額	121,219	△ 173,238
当期純利益	87,398	554,941
親会社株主に帰属する当期純利益	87,398	554,941

■ 連結株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額			純 資 産 計	
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株 主 資 本 合 計	その他有価証券 評価差額金	為 替 換 算 調 整 勘 定		その他の包括 利益累計額合計
当期首残高	951,799	833,305	9,606,972	△ 160,056	11,232,020	455,320	170,385	625,705	11,857,726
当期中の変動額									
剰余金の配当			△ 90,556		△ 90,556				△ 90,556
親会社株主に帰属する当期純利益			87,398		87,398				87,398
自己株式の取得				△ 387	△ 387				△ 387
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 134,359	△ 154,809	△ 289,169	△ 289,169
当期中の変動額合計	—	—	△ 3,157	△ 387	△ 3,545	△ 134,359	△ 154,809	△ 289,169	△ 292,714
当期末残高	951,799	833,305	9,603,814	△ 160,443	11,228,475	320,961	15,575	336,536	11,565,012

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,270	643,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 833,561	△ 503,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 90,841	△ 82,774
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 78,448	181,799
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 977,581	239,705
現金及び現金同等物の期首残高	6,199,847	5,960,142
現金及び現金同等物の期末残高	5,222,265	6,199,847

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成28年3月31日)	(平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,375,675	9,088,937
固定資産	3,914,645	3,712,288
資産合計	12,290,321	12,801,226
負債の部		
流動負債	1,698,597	2,109,050
固定負債	463,118	543,722
負債合計	2,161,715	2,652,773
純資産の部		
株主資本	9,807,644	9,693,132
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,182,982	8,068,083
自己株式	△ 160,443	△ 160,056
評価・換算差額等	320,961	455,320
純資産合計	10,128,605	10,148,452
負債純資産合計	12,290,321	12,801,226

■ 株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	株主資本								自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			評価・換算差額等					
		資本準備金	資本剰余金合計	利益剰余金合計	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	24,603	5,600,000	2,261,562	8,068,083	△ 160,056	9,693,132	455,320	455,320	10,148,452
当期中の変動額													
剰余金の配当							△ 90,556	△ 90,556		△ 90,556			△ 90,556
固定資産圧縮積立金の取崩					△ 1,095		1,095	-		-			-
実効税率変更に伴う固定資産圧縮積立金の増加					658		△ 658	-		-			-
当期純利益							205,455	205,455		205,455			205,455
自己株式の取得									△ 387	△ 387			△ 387
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)											△ 134,359	△ 134,359	△ 134,359
当期中の変動額合計	-	-	-	-	△ 436	-	115,335	114,899	△ 387	114,511	△ 134,359	△ 134,359	△ 19,847
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	24,167	5,600,000	2,376,898	8,182,982	△ 160,443	9,807,644	320,961	320,961	10,128,605

■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
売上高	6,785,348	6,856,945
売上原価	4,697,060	4,612,191
売上総利益	2,088,288	2,244,753
販売費及び一般管理費	1,956,466	1,940,444
営業利益	131,822	304,309
営業外収益	140,095	311,724
営業外費用	59,473	9,094
経常利益	212,443	606,939
特別利益	102,446	-
特別損失	10,980	468
税引前当期純利益	303,909	606,470
法人税、住民税及び事業税	40,453	257,748
法人税等調整額	58,000	△ 94,492
当期純利益	205,455	443,214

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結245名 単体181名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Mactan, Inc.
ホームページ	http://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
取締役	青木 明裕
取締役	塚 正 勉
取締役	大橋 宏成
常勤監査役	中村 正
監査役	片山 隆之
監査役	吉原 重樹

■ 株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,425,200株
株主数	612名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッチ	1,320	16.03
株式会社三井住友銀行	410	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	348	4.23
大橋 宏成	293	3.55
大橋 尚子	280	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	279	3.38
太陽生命保険株式会社	225	2.74
大橋 千津子	201	2.44
大橋 智成	192	2.34
富岡 友子	186	2.26

(注) 1. 当社は、自己株式を193千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

